

分野	住民自治	施策	市民活動支援	
分野計画名称	—		行政経営戦略 参照ページ	P49

施策の展開（大項目）	1 市民主体のまちづくりの推進					
KPI (指標)	「地域の活動に参加している」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	32.0%(令和2年度)	33.5%	28.2%	30.7%	40.0%

中項目	1 市民活動の支援		分野計画参照ページ	—
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績		分析・考察	
市民活動支援事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動団体交流会として、「会ってしゃべってぶっちゃけトーク会」を5回(前年度比±0回)開催し、延べ98人(前年度比-18人)が参加した。うち1回は大阪府と協働で実施した。 ・商工会と共催で、「人と組織と地域の成長」をテーマに、グループワークを交えたセミナー及び交流会を実施し、21人(前年度比-13人)が参加した。 ・市民活動支援講座として、「Instagram講座応用編」を開催し、6人が受講した。また、「インボイス制度セミナー」を開催し、10人が受講した。 ・地域課題解決等に取り組む4団体(前年度比-2団体)に市民公益活動補助金を交付した。 ・市内のNPO法人数は17団体(前年度比-2団体)であった。 ・広報紙や各施設のホームページで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載するとともに、各施設で市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。 ・各施設で、市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。 ・市内イベントの情報発信サイト「イベントナビ」を立ち上げた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動団体交流会において、団体同士の情報共有や意見交換、さらにそれぞれが抱える悩みを相談し合える貴重な場で、活動団体の育成や支援につながっているため、継続実施していく。 ・市民活動支援講座は、活動団体の構成員の能力向上や交流を育み、活動団体の支援や活性化につながっているため、今後も引き続き実施していく。 ・引き続き、摂津市商工会と連携して民間企業の補助金の案内や申請支援などを実施していく。 ・市民公益活動補助金について、審査委員から物価高騰の影響によって金額の合理性を再検討すべきではないかと意見が付されていることから、近隣他市の状況等の調査を行う。 ・より多くの市民活動団体等にイベントナビを活用していただけるよう公共施設の掲示板やホームページ等で周知するとともに、市民に利用していただけるよう周知する必要がある。 ・今後の市民公益活動の支援として、本市にふさわしい中間支援の在り方を検討する必要がある。 	

中項目	2 地域コミュニティ活動の支援		分野計画参照ページ	-
関連する主な事業	令和5年度の取組実績	分析・考察		
地区振興委員事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・100人（前年度比-4人）の方を地区振興委員に委嘱し、地域住民と行政のパイプ役として、行政書類の配布を行っていただくとともに、地域課題に関する意見等を委員から拝聴した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地区振興委員の担い手が減少している。要因は少子高齢化や定年延長など、社会環境の変化等と考えられる。地区振興委員の役割が大きな負担とならないように、引き続き行政からの依頼事項等の整理を行う。 		
自治活動推進事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・単位自治会の活動を資金的に手厚く支援してほしいという自治連合会からの要望を受け、予算の見直しを行った。 ・6つの校区（地区）連合自治会に地域活性化事業補助金を交付し、美化活動や防犯・防災活動等、24件（前年度比+14件）の事業が実施された。 ・地域のこども会、老人クラブ、校区等福祉委員会、市民公益活動団体、事業者等、さまざまな主体が連携することによる地域コミュニティの活性化を目的とした条例の制定について、庁内で検討委員会を立ち上げた。検討会議を7回開催し、（仮称）摂津市協働のまちづくり推進条例の素案を作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・単位自治会の活動を支援するため一部予算の見直しを行ったが、引き続き、自治会の意見等を踏まえながら、必要に応じ支援の見直しを検討していく。 ・（仮称）摂津市協働のまちづくり推進条例の制定に向け、地域のこども会、老人クラブ、校区等福祉委員会、市民公益活動団体、事業者等への意見聴取やパブリックコメントを実施していく。 ・令和6年4月1日時点の自治会加入率は41.5%（前年度比-1.9%）となっており、年々減少傾向にあるため、自治会活性化策の検討を進める必要がある。 		

分野	住民自治	施策	市民活動支援	
分野計画名称	—		行政経営戦略 参照ページ	P49

施策の展開（大項目）	2 多様な担い手との協働の推進					
KPI (指標)	「地域の活動に参加している」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	32.0%(令和2年度)	33.5%	28.2%	30.7%	40.0%
KPI (指標)	市民活動等に関する交流会の参加者数					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	134人	80人	138人	135人	200人

中項目	1 協働の土壌づくり		分野計画参照ページ	—
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績		分析・考察	
市民活動支援事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動団体交流会として、「会ってしゃべってぶっちゃけトーク会」を5回(前年度比±0回)開催し、延べ98人(前年度比-18人)が参加した。うち1回は大阪府と協働で実施した。 ・商工会と共催で、「人と組織と地域の成長」をテーマに、グループワークを交えたセミナー及び交流会を実施し、21人(前年度比-13人)が参加した。 ・市民活動支援講座として、「インスタグラム講座応用編」を開催し、6人が受講した。また、「インボイス制度セミナー」を開催し、10人が受講した。 ・地域課題解決等に取り組む4団体(前年度比-2団体)に市民公益活動補助金を交付した。 ・市内のNPO法人数は17団体(前年度比-2団体)であった。 ・広報紙や各施設のホームページで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載するとともに、各施設で市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。 ・各施設で、市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。 ・市内イベントの情報発信サイト「イベントナビ」を立ち上げた。 		<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動団体交流会において、団体同士の情報共有や意見交換、さらにそれぞれが抱える悩みを相談し合える貴重な場で、活動団体の育成や支援につながっているため、継続実施していく。 ・市民活動支援講座は、活動団体の構成員の能力向上や交流を育み、活動団体の支援や活性化につながっているため、今後も引き続き実施していく。 ・引き続き、摂津市商工会と連携して民間企業の補助金の案内や申請支援などを実施していく。 ・市民公益活動補助金について、審査委員から物価高騰の影響によって金額の合理性を再検討すべきではないかと意見が付されていることから、近隣他市の状況等の調査を行う。 ・より多くの市民活動団体等にイベントナビを活用していただけるよう公共施設の掲示板やホームページ等で周知するとともに、市民に利用していただけるよう周知する必要がある。 	

<p>コミュニティプラザ管理事業 自治振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動に関するチラシを法人種別や主催者ごとに区分けするなど、できるだけ手に取ってもらいやすいように工夫を行いながら配架した。 ・指定管理者が主体となり、市民や文化関係団体と「南千里丘夕涼み会」「2023南千里丘クリスマスバル」「ロビーコンサート」等のイベントを開催した。 ・広報紙や各施設のホームページに加え、SNSで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載した。 ・各施設で、市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・南千里丘夕涼み会は平日から土曜日に開催曜日を変更したことで、コロナ前と比較して数倍の市民の来庁があり、大変な賑わいがあった。開催日等、指定管理者と検討し今後も継続して実施する。 ・SNSは定期的に更新できていることから、引き続き継続して投稿を行うことで、フォロワーが増えることを期待している。 ・市内イベントの情報発信サイト「イベントナビ」を積極的に活用する。
<p>コミュニティセンター管理事業 自治振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動に関するチラシを法人種別や主催者ごとに区分けするなど、できるだけ手に取ってもらいやすいように工夫を行いながら配架した。 ・「のびのびストレッチ～体のバランス～」等の講座や、音楽、落語会、人形劇等のイベントを計43回（前年度比+7回）開催し、計4,833人（前年度比+1,790人）が参加した。 ・別府コミュニティセンターまつり開催し、初めての取組として、「走るデバ地下、お菓子の移動販売車」を招致した。 ・広報紙や各施設のホームページで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載した。 ・各施設で、市民公益活動団体の活動内容や活動日時、代表者の連絡先等の情報を掲示した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講座参加者に対するアンケート結果を元に、満足度が高いと判断し、例年同様の講座を実施しているが、稼働率の向上を図るため新たな講座を企画することを検討する。 ・講座参加者の増加の要因は、新型コロナウイルスが5類に移行したことにより、人の動きが活発になったためと分析する。 ・別府コミュニティセンターまつりの「走るデバ地下、お菓子の移動販売車」など新たな取組は継続して取り入れていく必要がある。 ・ホームページは開設しているが、SNSを活用できていないことから、活用を促す必要がある。 ・市内イベントの情報発信サイト「イベントナビ」を積極的に活用する。
<p>正雀市民ルーム管理事業 自治振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動に関するチラシを配架した。配架にあたっては、法人種別や主催者ごとに区分けするなど、できるだけ手に取ってもらいやすいように工夫を行った。 ・「ましたの楽市」や「たそがれコンサート」に参画した。たそがれコンサートにおいては、正雀市民ルームがミニコンサート会場になるなど、職員が運営に携わった。 ・「ハッピーヨーガ教室」等、7講座（前年度比-2講座）を開催し、延べ1,458人（前年度比+310人）が参加した。 ・旧市民サービスコーナーのスペースに、高齢者が手作りした雑貨や子どもが描いた絵を窓際に飾ることで、集客のきっかけづくりを行った。 ・広報紙や各施設のホームページで市民活動団体のイベント情報や会員募集について掲載した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・稼働率の低い貸室（調理室）の活用及び若年齢層の利用促進を図る。親子で参加できる料理教室のような自主事業の企画を指定管理者と協力して取り組む。 ・市内イベントの情報発信サイト「イベントナビ」を積極的に活用する。 ・たそがれコンサート等の地域イベントへの参画を継続することで、施設をPRしていく。

<p>中項目</p>	<p>2 市民公益活動の仲間づくり</p>		<p>分野計画参照ページ</p>	<p>—</p>
<p>関連する主な事業</p>	<p>令和5年度の取組実績</p>		<p>分析・考察</p>	
<p>自治活動推進事業 自治振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自治連合会・老人クラブ連合会・民生児童委員協議会・社会福祉協議会と市で構成する「つながりのまち摂津連絡会議」において、つながりの大切さを伝える活動として、市役所で啓発チラシの配架、広告付き窓口案内システムへ情報の掲載、またのぼり旗の設置を行うとともに、JR千里丘駅ガード上の歩道橋及び鳥飼八防歩道橋に横断幕を掲示した。 ・庁舎前での街頭啓発や、参画団体が共通して持つ課題をテーマに講師を招く地域交流研修会を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・「つながりのまち摂津連絡会議」での街頭啓発や、地域交流研修会を契機に、地域コミュニティ団体の活動の活性化を図るとともに、地域コミュニティの連携をさらに広げる必要がある。 ・コロナ禍で停滞してしまった市民公益活動団体の活動を活性化させていく必要がある。 ・つながりのまち摂津連絡会の活動内容のPR方法について検討する。 ・（仮称）摂津市協働のまちづくり推進条例につなぐつながりのまち摂津連絡会議に関する内容を盛り込むことで、方向性等について並行して検討を行う。 	

<p>市民活動支援事業 自治振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動団体交流会として、「会うてしゃべってぶっちゃけトーク会」を5回(前年度比±0回)開催し、延べ98人(前年度比-18人)が参加した。うち1回は大阪府と協働で実施した。 ・商工会と共催で、「人と組織と地域の成長」をテーマに、グループワークを交えたセミナー及び交流会を実施し、21人(前年度比-13人)が参加した。 ・市民活動支援講座として、「インスタグラム講座応用編」を開催し、6人が受講した。また、「インボイス制度セミナー」を開催し、10人が受講した。 ・市内のNPO法人数は17団体(前年度比-2団体)であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公益活動団体交流会において、団体同士の情報共有や意見交換、さらにそれぞれが抱える悩みを相談し合える貴重な場で、活動団体の育成や支援につながっているため、活動団体のニーズや開催のあり方等を踏まえて継続実施していく。 ・市民活動支援講座は、活動団体の構成員の能力向上や交流を育み、活動団体の支援や活性化につながっているため、今後も引き続き実施していく。 ・今後の市民公益活動の支援として、本市にふさわしい中間支援の在り方を検討する必要がある。 ・市民公益活動を行っている団体、事業者、中間支援組織などの団体情報のデータベース化を行う必要がある。
---------------------------	--	--

中項目	3 市役所の協働力の向上		分野計画参照ページ
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績	分析・考察	
<p>市民活動支援事業 自治振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「摂津市における協働と市民公益活動支援の指針」に基づき、市民団体及び市職員を対象に「地域コミュニティの活性化」について協働研修を実施した。(参加人数 市民団体16人 市職員27人) ・官民共創事業に係る研修会(人事派遣研修)に職員1名を派遣した。 ・市内で地域コミュニティの活性化に向けた条例制定検討委員会を立ち上げ、(仮称)摂津市協働のまちづくり推進条例(素案)を作成した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と職員が共に学び、協働の価値観を共有できる研修は重要であることから、今後も引き続き実施していく必要がある。 ・(仮称)摂津市協働のまちづくり推進条例(素案)について、地域団体から意見を聴取する必要がある。 	
<p>一般事務事業 政策推進課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社ガンバ大阪及びヴェオリア・ジェネッツ株式会社関西支店と包括連携協定を締結するなど、公民連携に関する協定が105件(前年度比+9件)となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、地域課題の解決に向けて公民連携を推進し、市民サービスの向上につなげる。加えて、各連携協定における取組状況を整理していく必要がある。 	
<p>鳥飼まちづくりグランドデザイン 推進事業 政策推進課(鳥飼地区まちづくり担当)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥飼まちづくりグランドデザインで位置付ける5つのエリアにおいて、住民説明会を計5回開催した。住民説明会では、鳥飼まちづくりグランドデザインの共有と、将来予想や取組の方向性の確認を行った。 ・鳥飼まちづくりグランドデザインで示す居住性向上エリア(2A)において、地域の賑わい創出に向けた淀川河川敷の活用に関するワークショップを3回実施し、将来予想実現に向けた取組の優先順位を協働の考えのもと市民と行政と一緒に考えることができた。 ・わいわいガヤガヤ祭では、市内事業者や商工会等の有志の協力のもと、まちづくり応援隊ブースにて、鳥飼まちづくりグランドデザインのPR及びアンケートを実施した。 ・民間事業者や地元団体等多様な主体が協力のもと、南摂津駅前ロータリーを活用した地域の賑わいイベントを初開催し、約1,600名が参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会やワークショップへの参加人数は決して多いとは言えないため、開催案内等にあたっては従前の手法に捉われない様々な周知の工夫を検討する必要がある。 ・わいわいガヤガヤ祭で行ったアンケートからは、グランドデザインに関する認知度が依然低いことに加え、まちづくりに興味関心を持つ項目が子育てに関することという意見が多く見られたため、子育て世代がワークショップ等に参加しやすい環境づくりを検討していく必要がある。 ・行政、地域住民や地域団体、民間事業者がそれぞれの役割分担のもと地域の賑わいイベントが実施できた。今後もワークショップ等を通じて協働のまちづくりの主体となる担い手発掘に向けた取組を進めていく必要がある。 	
<p>摂津まつり振興会補助事業 自治振興課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第47回摂津まつりを開催した。コロナウイルスの感染拡大に伴い、中止していた盆踊り大会を4年ぶりに再開した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・摂津まつりは職員と市民団体、事業者等との協働が実践できる大変貴重な土壌であるため、継続して実施する。 ・補助金を増額することは困難であることから、摂津まつり振興会の収支バランスを安定的なものとする必要がある。 	

分野	住民自治	施策	市民活動支援	
分野計画名称	—		行政経営戦略 参照ページ	P49

施策の展開（大項目）	3 コミュニティ施設の整備					
KPI (指標)	コミュニティ施設の稼働率					
	推移の方向性	基準値	令和3年度 結果	令和4年度 結果	令和5年度 結果	目標値 (令和7年度)
	増加	33.0%	28.2%	28.1%	29.7%	40.0%

中項目	1 施設の維持管理		分野計画参照ページ	—
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績		分析・考察	
コミュニティプラザ管理事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁目地シーリングの切れ等劣化していたことから、実施設計に基づき改修工事を実施した。 ・立体駐車装置のワイヤー、空調設備や排煙窓の部品及び非常灯蓄電池等の取替修繕を実施した。 ・各種定期点検を実施した。 ・年間稼働率は40.8%（前年度比+1.3%）であった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・屋上に庭園を擁するため、引き続き計画的な維持補修を行う必要がある。 ・蛍光灯照明器具の生産・販売が終了しているため、館内照明のLED化について、検討を進める必要がある。 ・防犯カメラの一部に不具合がみられることから、修繕を検討する。 	
コミュニティセンター管理事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・各種定期点検を実施した。 ・年間稼働率は24.7%（前年度比+3.0%）であった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・大きな修繕が必要な状況ではないが、引き続き、計画的かつ緊急性に応じた修繕を実施していく。 	
市民ルームフォルテ管理事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・各種定期点検を実施した。 ・年間稼働率は18.4%（前年度比+1.3%）であった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・大きな修繕が必要な状況ではないが、引き続き、計画的かつ緊急性に応じた修繕を実施する必要がある。 	
正雀市民ルーム管理事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・各種定期点検を実施した。 ・空調設備が劣化していたため、修繕工事を行った。 ・年間稼働率は34.7%（前年度比+0.7%）であった。 		<ul style="list-style-type: none"> ・計画的かつ緊急性に応じた修繕を実施する。 ・貸室や廊下の壁紙が傷んでおり、利用者から張り替えてほしいと要望が寄せられている。見栄えが悪いことから、張り替えを検討する必要がある。 ・正面玄関入口及び駐車場の敷地内の一部の地盤が沈下しており、高齢者等がつかずいて怪我をする危険があることから、対応を検討する必要がある。 ・蛍光灯照明器具の生産・販売が終了しているため、館内照明のLED化について、検討を進める必要がある。 	

中項目	2 施設のあり方の検討		分野計画参照ページ	-
関連する主な事業	令和5年度 の取組実績	分析・考察		
コミュニティセンター管理事業 自治振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）味生コミュニティセンター基本構想に基づき、建設工事に係る基本設計を行った。また、補助金を活用するため国に要望を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）味生コミュニティセンターの建設予定地を取得するとともに、実施設計を行う。また、補助金の申請及び翌年度の要望を行う。 		